



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第102回(今年度第6回) 2019年12月6日(金)14:00~ 於:市庁舎401会議室



I 議長挨拶

2 経過報告 10月25日 第101回連携会議

11月8日 石狩管内公立小中学校事務研修会～ライフォート～

3 協議事項

協議題1 2020(R2)配分予算調整の各校状況と交流(事務局) ~別紙1

協議題2 今年度の反省について (事務局) ~別紙2

1. 各グループの反省について
2. 白書・提言の方向性について

IV 実践交流

協議題1を兼ねて行います。

V 連絡事項

なし

<別紙1> 2020(R2)配分予算調整の各校状況と交流 ※実践交流を兼ねる

予算の配分調整について今年度の各校配分調整の状況について交流し、今後の改善に結びつけます。

【交流の観点】 配分調整が採用され、既に5年が経過しました。そこで、

1. 配分調整を行った経緯を交流します。(行わなかった理由も)

2. 前回連携会議にて、配分調整を当該年度でできないかという意見がありました。現状では前年11月での要望となるため、前年度からのサイクルを意識している部分はあります。もっと融通が利く執行方法を求めるですか?

<別紙2> 今年度の反省について

今年度の反省の時期を迎えました。以下のスケジュールを提案するのでご検討願います。

1 今年度の反省に関わるスケジュール

- ①12/6以降 各グループで反省用紙(内容)の検討
- ②1/31までに 各グループ反省集約
- ③2/7 意見に対する見解の検討
- ④3/6 第104回連携会議で報告

2 白書及び提言の方向性について

①提言について ~「過去の石狩市の学校間連携」より

提言はいずれも学校現場の視点から学校づくりのための効果的予算執行及び事務の効率化等に言及しており、教育目標の具現化に向けた取り組み強化に寄与するものと考えます。ただし、「提言」はあくまで問題提起と改善のための指針でしかありません。ですから、その内容が事務職員の業務に対して発せられている場合は、事務職員自身が改善に向けた努力をしなくてはなりません。ここでも、連携会議が単なる研修の場ではなく、学校事務の実務を推進するための共通理解の場であるということをあらためて確認しなくてはなりません。一方、それが教育行政に対する課題提起の場合は、当事者は真摯に受け止めて論議の場を用意するなどの配慮が必要だと考えます。

※上記の内容が、公式に発表されている「提言」の方向性です。

昨年は、

②白書について

学校間連携会議の1年間の活動反省として、事務局にて作成し、内容を皆様に見ていただき昨年度から市教委に手交しています。作成スケジュールは以下の通りです。

2/7までに原案を提示

2/20で検討

3/6最終確認